

## 5. 生きがいと誇りをもって暮らせるまち

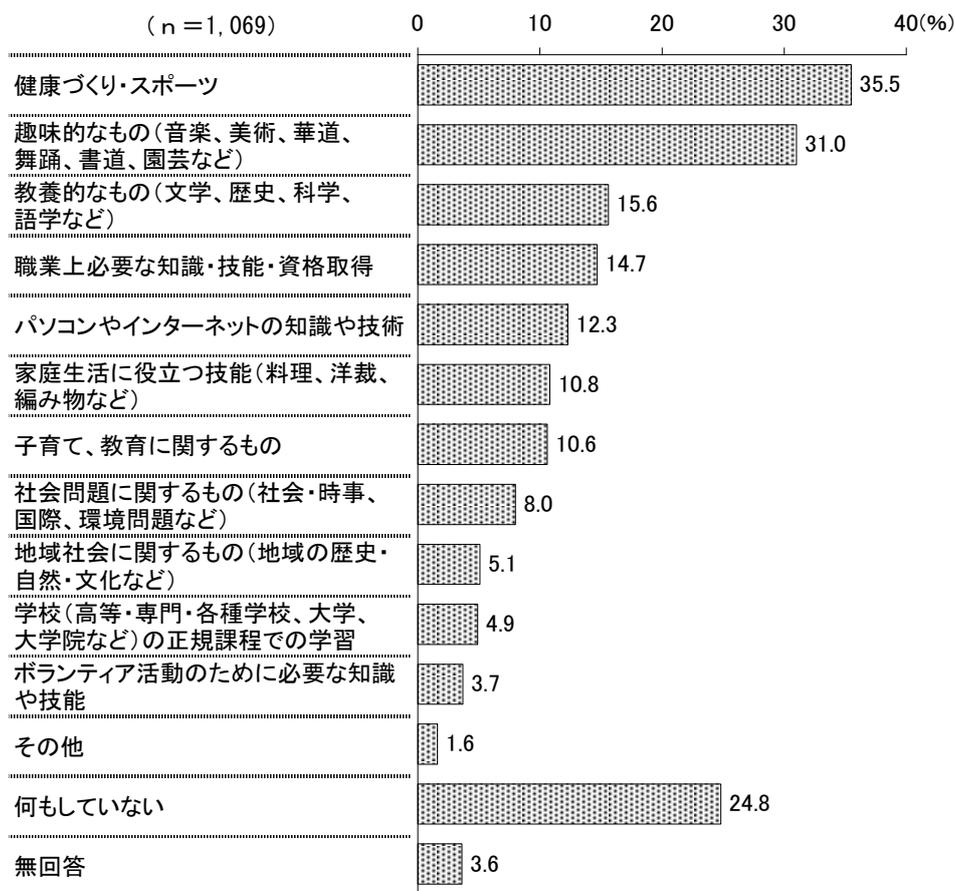
### (1) この1年間に行った生涯学習

◇「健康づくり・スポーツ」が3割半ば

問10 この1年間にどのような生涯学習の活動を行いましたか。(〇はいくつでも)

※「生涯学習」とは、人々が生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校教育や区が行う講座などの学習機会に限らず、自ら進んで行う学習、文化、スポーツ、趣味、ボランティア活動などにおけるさまざまな学習活動のことをいいます。

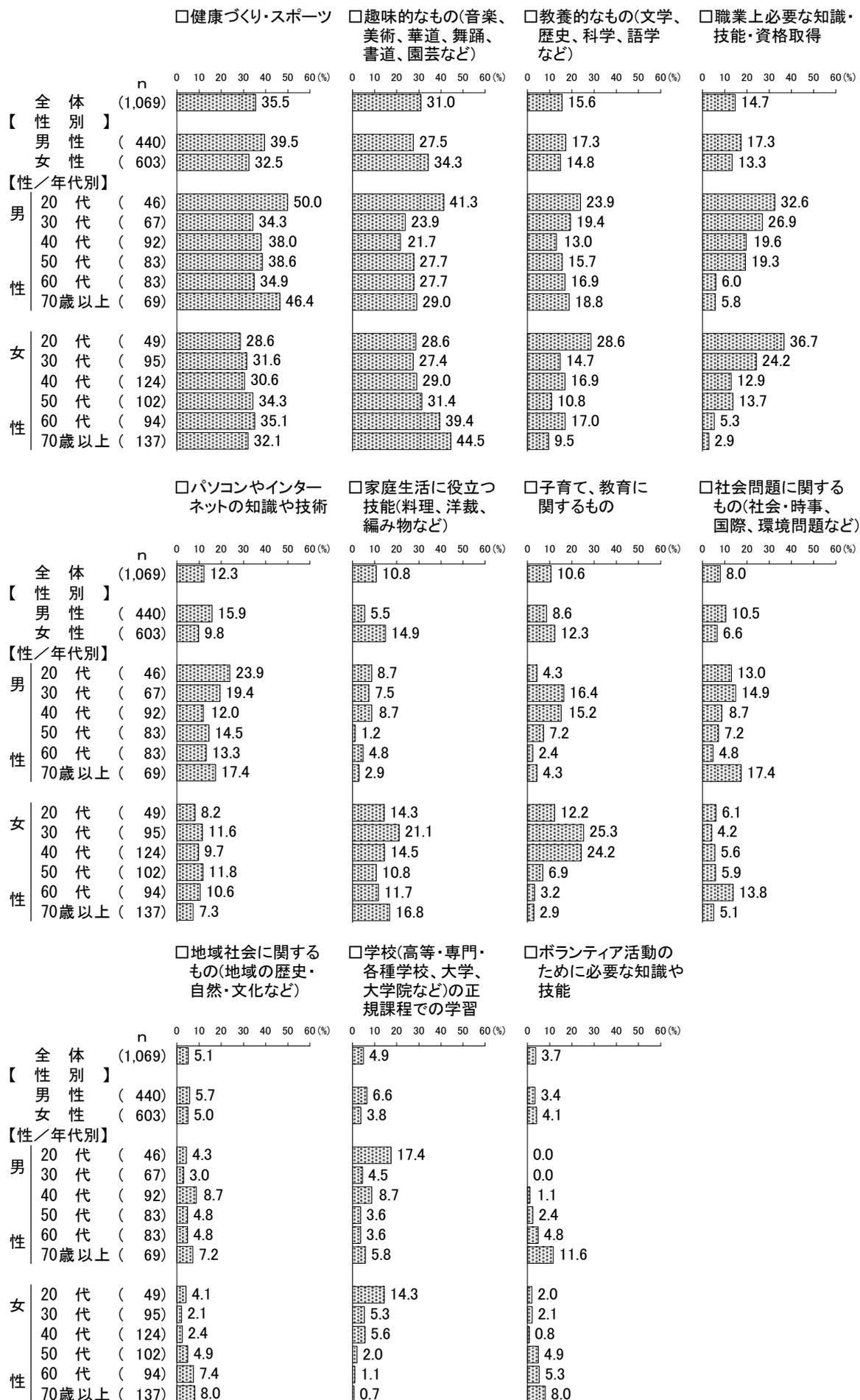
図5-1-1



この1年間に行った生涯学習を聞いたところ、「健康づくり・スポーツ」(35.5%)が3割半ばで最も高く、次いで「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸など)」(31.0%)、「教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)」(15.6%)、「職業上必要な知識・技能・資格取得」(14.7%)、「パソコンやインターネットの知識や技術」(12.3%)などの順になっている。一方、「何もしていない」(24.8%)は2割半ばとなっている。

「その他」への回答として、「町会活動」、「障がい者・高齢者へのサポート」などがあげられている。(図5-1-1)

図5-1-2 この1年間に行った生涯学習－性／年代別



性別で見ると、「家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、編み物など)」は女性(14.9%)が男性(5.5%)より9.4ポイント高くなっている。一方、「健康づくり・スポーツ」は男性(39.5%)が女性(32.5%)より7.0ポイント高くなっている。

性/年代別で見ると、「健康づくり・スポーツ」は男性20代(50.0%)で5割となり、「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸など)」は女性70歳以上(44.5%)で4割半ばとなっている。また、「教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)」は女性20代(28.6%)で3割近くとなり、「職業上必要な知識・技能・資格取得」は男女ともにおおむね年代が低くなるほど割合が高く、女性20代(36.7%)で4割近くとなっている。(図5-1-2)

## (2) 生涯学習を通じて身につけた知識・技能の活用

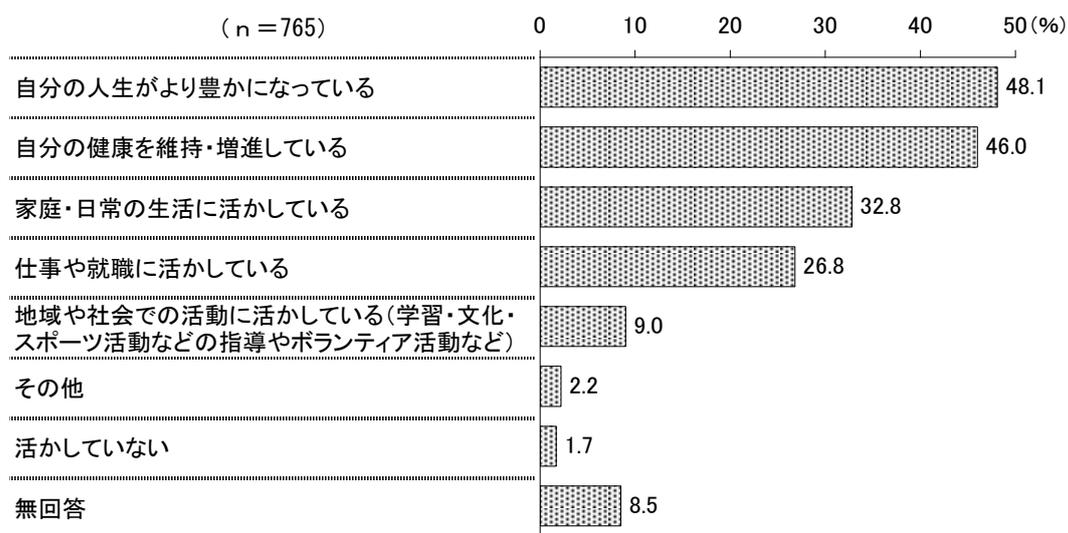
◇「自分の人生がより豊かになっている」が5割近く

(問10で、「1」～「12」と回答した方に)

問10-1 生涯学習を通じて身につけた知識・技能を、どのように活かしていますか。

(○はいくつでも)

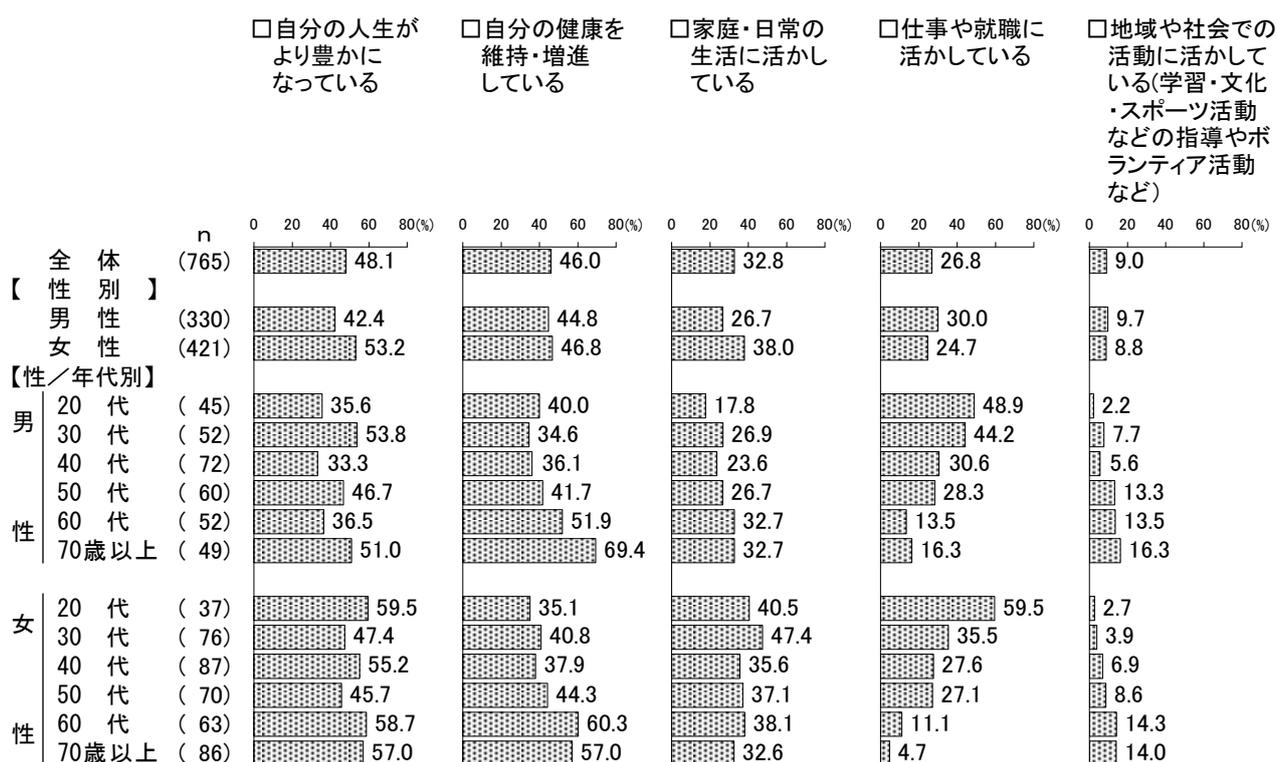
図5-2-1



この1年間に「生涯学習活動を行った」と答えた人(765人)に、生涯学習を通じて身につけた知識・技能を、どのように活かしているか聞いたところ、「自分の人生がより豊かになっている」(48.1%)が5割近くで最も高く、次いで「自分の健康を維持・増進している」(46.0%)、「家庭・日常の生活に活かしている」(32.8%)、「仕事や就職に活かしている」(26.8%)、「地域や社会での活動に活かしている(学習・文化・スポーツ活動などの指導やボランティア活動など)」(9.0%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「家族とのコミュニケーション」、「自律的な生活をするために」などがあげられている。(図5-2-1)

図5-2-2 生涯学習を通じて身につけた知識・技能の活用一性／年代別



性別でみると、「家庭・日常の生活に活かしている」は女性（38.0%）が男性（26.7%）より11.3ポイント高く、「自分の人生がより豊かになっている」は女性（53.2%）が男性（42.4%）より10.8ポイント高くなっている。一方、「仕事や就職に活かしている」は男性（30.0%）が女性（24.7%）より5.3ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「自分の人生がより豊かになっている」は女性20代（59.5%）で6割と高く、「自分の健康を維持・増進している」は男性70歳以上（69.4%）で約7割、女性の60代（60.3%）と70歳以上（57.0%）で6割前後と高くなっている。また、「仕事や就職に活かしている」は男女ともにおおむね年代が低くなるほど割合が高く、女性20代（59.5%）で6割、男性20代（48.9%）で5割近くとなっている。（図5-2-2）